

事業番号	事務事業名	空家改修補助金	所管課名	まちづくり課	令和 2 年度課長名	小林 英将
00395	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	企画係	担当者・シート作成者	新田 直樹
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町定住促進空き家改修事業補助金交付要綱 鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	空家の改修により、住環境の整備と移住・定住者の推進に寄与するための助成事業 空家を購入または賃貸し住宅改修を行う施工主(世帯主)に対し、対象改修費の1/2 (50万円を限度)を補助する。 取得した住宅の20万円以上の改修が対象	平成28年度から、空き家の有効活用による町内人口の増加と地域経済の活性化を図るため、町内の空き家を購入又は賃借し入居する者が、当該空き家に居住するために必要な改修等を行う場合に要する経費の一部に対し、予算の範囲内において補助を行なう制度を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町外の移住・定住希望者	ア 町外の移住・定住希望者	人	見込 実績					
イ	イ 移住・定住相談件数(町内)	件	見込 実績	150 180	200 235	240 194	240	270
ウ	ウ 移住・定住相談件数(県内全体)	件	見込 実績	7,000 7,182	7,000 6,678	7,000 5,809	7,000	7,000

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 移住・定住してもらう	ア 転入人口	人	目標 実績 達成率	460 386 83.9%	460 397 86.3%	460 314 68.3%	470	470 66.8%
イ	イ 空き家改修後の入居者数	人	目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 空き家改修補助金交付	ア 空き家改修補助金申請件数	件	目標 実績 達成率	4 8 200.0%	4 2 50.0%	4 3 75.0%	4	4 75.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 02 総務費	項 01 総務管理費	目 06 企画費	大事業 34	中事業 12	予算上の事業名	00395					
	空家改修補助金						00395						
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金		1,000	1,000	1,000	1,000		県支出金				1,000	1,000	
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	4,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	一般財源	4,000	1,000	1,500	1,000	1,000	500
合計	4,000	2,000	3,000	2,000	2,000	1,000	合計(A)	4,000	1,000	1,500	2,000	2,000	500
財源名称	移住支援補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1	
							延べ業務事務時間	2	8	8	8	8	
							人件費計(千円)(B)	7	28	27	27	27	-1
	最終予算額	3,000 千円	予算執行率	50.0%	トータルコスト(A+B)		4,007	1,028	1,527	2,027	2,027	499	
主な支出事業内容(予算)	補助金						3,000 千円						
	主な支出事業内容(決算)						補助金						1,500 千円

事業番号	00395	事務事業名	空家改修補助金	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	---------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
空き家登録制度の定着により登録件数としては増加の傾向にある。一方、空き家購入や、賃貸借を希望される方も増加している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助の内容としては変更せず実施してきている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
制度を利用された方からは補助金について、大変助かるとの声が寄せられている。一方で、売り主、貸主の方についても改修できる内容にしたらどうかとの意見もある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	令和2年度鏡野町経営方針の重点施策として定住化が掲げられており、その中で定住希望者への支援の充実が掲げられているが、本事業はこうした内容に結びついたものである。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	鏡野町における地域活性化対策の一つとして、移住・定住施策は町が関与すべきものであり妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	事業の現状や成果から考えて、対象は見直し余地はないが、意図についての転入人口については、色々な要因での窓口における転入者数としているため、これについては見直しても良いと考える。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	空き家の売買件数等が増加すれば、比例的に補助金希望者も増えるものと考えているが空き家購入者や賃貸借契約をされた方に更なるPRが必要。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	補助金額的にも50万円を限度としており、改修工事をされる方については助けとなっていることから、補助金を廃止すれば影響が出る。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助金額的には、これ以上の改善を考えていない。また、売り主や、貸主についての助成については、個人の不動産価値上昇にも繋がり、それによって売買価格や賃貸額に影響及ぼすことも考えられることから、こちらについても改善は考えていない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	制度の内容から考え、事業費の削減余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	業務にかかわる職員は、他の業務と兼務で事業を実施していることから、これ以上の削減は出来ない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	事業の対象者は、鏡野町に定住することを目的に家を買われた(借りた)方であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	移住・定住を促進する上で、今後も空家改修補助金は必要であると考えている。空き家の取引数に応じ、補助金を希望される方も、毎年一定ではないが、基本的に空家改修補助金が「こうした制度があるので、購入することを決定した。」などの要因になることが望ましいことと考えている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 基本的には、現状を維持すべきと考える。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
特になし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							